



令和6年3月1日現在

人口	14,357人
男性	6,949人
女性	7,408人
世帯数	6,929戸

合併50周年記念

これが分かれば本郷通がへ検11

〔最終章〕

令和4年3月30日号から続いた合併50周年記念の「がへ検」も今回が最終回となります。

① 次の地名・文化財などは何と読むでしょう。

- 問68 三才山
- 問69 稲倉
- 問70 惣社
- 問71 水汲
- 問72 雪中
- 問73 御射神社
- 問74 平野神社



② 人名クイズです。

- 問75 平成9年に開校し、10年間に100回の授業を行った尋常浅間学校の校長は？
- 問76 平成30年10月に南郷福祉ひろば開設10周年を記念し男性合唱コールヴォーチェが披露したひろば賛歌「やすらぎ」の作詞、作曲者は？
- 問77 平成26年のローザンヌ国際バレエコンクールで第一位に入賞した松本第一高校出身のダンサーは？

- 問78 美鈴湖畔にあり平成23年に閉場した世界三大高速リンク「浅間温泉国際スケートセンター」で活躍したオリリンピアンは？
- 問79 昭和51年度本郷幼稚園開園10周年を記念し、園章と園歌を募集しましたが、園章を考案した人は？
- 問80 美ヶ原高原の「美しの塔」に刻まれた詩の作者は？
- 問81 平成28年から3年連続で美ヶ原自然保護センターにて開催された「スペシャルライブ&スターウォッチング in 美ヶ原」の出演者は？
- 問82 浅間温泉にあった社会文化センターの緞帳に描かれていた「北アルプス」の作者は？
- 問83 美ヶ原高原にある「うつくしテラス」は大ヒット漫画「orange」のデザインを用いているが、作者は？
- 問84 平成19年3月から平成20年3月にかけて浅間温泉内に設置された足元灯に刻まれている短歌の作者を挙げてください。
- 問85 東京2020オリンピック閉会式でソロパフォーマンスを披露し、NHKのドキュメント72時間のナレーターをつとめるなど表現者として活躍する令和3年度松本市文化芸術奨励賞を受賞した女鳥羽中学出身のOGは？
- 問86 太平洋戦争当時に避難させ、昭和61年に50年ぶりに本郷小学校に戻された人形の名は？
- 問87 平成27年4月から供用開始した「かりがねサッカー場」は松本山雅FCの練習拠点として活用されていますが、サッカー場の前身競技場は何でしょう？
- 問88 平成9年3月、本郷体育館の竣工記念式典を開催していますが、その際披露された使い始めの演技は何でしょう？
- 問89 昭和19年本郷村民運動会としてスタートした本郷地区ふれあい体育祭（親睦運動会）は平成10年の7町会参加の大会をもって幕を閉じましたが、最後の優勝町会はどこでしょう？
- 問90 平成元年10月10日に開催された県営総合運動場陸上競技場の最後の大会は何でしょう？
- 問91 昭和50年度までに、通産省の工業再配置促進補助金をうけ市民プール、美須々公園などの福利厚生施設を建設しましたが、横田に建設した施設は何でしょう？
- 問92 東京2020パラリンピックに出場するサイクリングチームで、令和3年8月に美鈴湖自転車競技場で事前合宿を行ったチームはどここの国でしょう？
- 問93 最も昔から町会運動会を開催していた町会はどこでしょう？
- 問94 冬季国体スケート大会は第15回大会（昭和35年）が美鈴湖において開催されていますが、浅間温泉国際スケートセンターでは何回開催されたでしょう？
- 問95 桜ヶ丘古墳から出土した金銅製天冠は昭和44年に県宝に指定されているが、平成22年に甲冑等副葬63点が追加指定されている。
- 問96 本郷地区内における最も新しい市指定文化財は枇杷の湯のサルスベリ群である。
- 問97 松本市美術館は平成14年4月に開館しましたが、平成7年11月に浅間温泉観光協会が浅間温泉活性化の目玉として美術館の建設を陳情している。
- 問98 昭和50年1月に原地籍に開所した養護老人ホーム温心寮の運営主体は松塩安筑老人福祉施設組合である。
- 問99 子ども子育て安心ルームを南郷こどもプラザに増設した時に配置された職員の名前は「子育てコンシェルジュ」である。
- 問100 昭和23年から平成元年まで開設されていた浅間温泉庚申堂のところにあった保育所の名称は「みたから保育所」である。
- 問101 平成17年に策定した本郷地区福祉計画にうたわれた宣言は「おせんしょ宣言」である。
- 問102 平成24、25年度にかけて延べ2800人の住民参加で実施したニホンジカ他防護柵の総延長は約16キロメートルである。
- 問103 原町会にお住まいの方が伝え平成10年に国の指定を受けた選択無形民俗文化財は「ミキノクチ製作習俗」である。
- 問104 日本郷村と松本市は昭和49年5月1日に合併した。

合併50年 町会のイマ

早落城遊歩道の今

本郷地区の山林でも松くい虫による松枯れが進行中です。倒木による生活道路の通行止めや停電などの直接的な被害もさることながら、里山の遊歩道にも影響が出ています。



洞地区の「早落城」は、近隣の住民や山城マニアにも人気の散歩コースですが、町会による定期的な保全も追いつかず、倒木の危険があるために立ち入る事ができなくなっています。この城址からの景色は、松本市街地から北アルプスの山々まで見渡せる隠れ絶景スポットだけに残念でなりません。

同じような条件と思われる浅間温泉泉の御殿山遊歩道や美鈴湖周辺の散策コースなども大丈夫なのか、と心配しています。



洞町会 S

横手の春祭り

令和6年2月11日(日)、本郷公民館で、毎春恒例の「横手の春祭り」が4年ぶりということもあり、大人から子どもまで、62名の参加者で盛大に行われました。まずは初めての餅つきは、皆さん大喜びで、大きな歓声が上がると、次々と美味しそうなお餅が出来上がっていました。懇親会は、役員さんの作った豚汁



とお餅(あんこ、きなこ、ごま)とフルーツポンチを美味しくいただきました。その後、子ども達によるけん玉、きら星の合唱、ビンゴゲーム、豪華な景品もあり、大いに盛り上がりました。久しぶりの集まりで、笑顔がとてよかったです。楽しいひとときでした。

浅間温泉第1町会 Y

浅間温泉の三九郎

松本地方の小正月の伝統行事「三九郎」。浅間温泉の各町会では1月7日(日)、女鳥羽川の河川敷で開催しました。暗くなり始めた午後5時正月飾りやだるまを飾り付けて組んだ木のやぐらに一齐に点火。火がついたやぐらは風にあおられて激しく燃え上がり、参加者から「おー!」と歓声が上がりました。



やぐらが落ちた後のお楽しみは、柳の枝に刺した「まゆ玉」を焼くこと。親子で残り火を囲み、まゆ玉を火であぶる。焼き上がりをほおばる親子に笑顔が広がりました。子どもの姿が昔より減っています。いつまでも続いている火祭りの行事です。

浅間温泉第4町会 T

ふれあい新年会

1月14日(日)ふれあい新年会がありました。コロナ禍で何度も中止を余儀なくされ、4年ぶりの開催でした。新しく転居された方の参加も含め久しぶりに会う人も多いだろうと思い、一人ひとりにガムテープで作った名札をつけてもらい、名前を呼びあつて話をしようという提案されました。まるで学校みたいですが、皆照れながら笑顔で名札を胸に当て「元気だった?」と手を握りあつて喜んでる姿がアチコチで見られました。コロナ禍の間、マスクの下で顔の弛みがよく進んでいるという特集があった。マスクの下

大村の八日念仏

3月3日(日)大村公民館において、町会の方13名が集まり、伝統の年中行事である「八日念仏」が行われました。直径5メートル以上もある大きな数珠を、参加者が輪になって回しながら「なんまいだんぼ(南無阿弥陀仏)」と鉦の音に合わせて、お線香が燃え尽きるまで唱え続けました。

参加者全員で町会の安穏や無病息災を、また、令和6年

であり表情を動かさない為筋力が弱ってしまいうらしい。ちなみにお互いマスクを外して会話すると顔の筋力はグツとアップする。やはり人は対面だからこそ笑い、口角も上がってくるのだと思う。会の最初、能登半島地震で亡くなった方に対し、1分間の黙とうを行い、こうして町会の人々が楽しく安全に寄り集まること、が、いかに大事なことが、つくづく感じました。11月の避難訓練の際、給水訓練をしました。まさに的を射た訓練でした。こうした会食会が普通にできることの幸せを感じました。

浅間温泉第8町会 K

1月1日に発生した能登半島地震で犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げます。と同時に、被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様の安全と被災地域の一日も早い復興をお祈りしました。



大村中町会 T